

..... わたしてほかの子と違うかも?

「ふつう」って なんだろう?

助産師として、
日々生命誕生の現場において、
多様な生と性を考えています

誕生の現場から、生と性の多様性を考える

「ふつう」という言葉は、自分のまわりを基準につい使ってしまうがち。では、「ふつう」じゃないってどんなことでしょうか。助産師として、多様な子どもたちの誕生と成長を見守ってきた棚木めぐみさんと一緒に、「ふつう」をキーワードに「生」と「性」の多様性について考えます。



講師：棚木めぐみさん

日時

6月18日(水) 19:00～20:30

講師

棚木めぐみさん (マザリーズ助産院代表)

方法

Zoomウェビナー (視聴者の顔・氏名非表示)

対象

区内在住・在勤・在学の方

定員

20人 (要申込・5月12日から先着順)

参加費

無料

申込方法

電話、FAXまたはオンライン申請 (足立区HP内)



こちらからも
お申し込みができます。

「カップル」って言ったなら女性と男性?

詳しくは裏面へ▶

申込・問合せ先

 足立区 男女参画プラザ(多様性社会推進課)

電話：03-3880-5222 (休館日を除く平日8:30～20:00受付)

FAX：03-3880-0133 (24時間受付)

※都合により内容が変更、中止になる場合があります。ご了承ください。



「ふつう」という何気ない言葉から、私たちが抱えている思い込みを考えることから始まり、「生」や「性」が実は多様なもので、それぞれが尊いことなのだということを、助産師をされている講師から伺います。「生まれる」現場から、生命の多様さを実感し、成長に応じて「多様な生き方」ができ、尊重されることを伝えていただき、LGBTQへの理解も深めていきます。

マザリーズ助産院代表

棚木めぐみさん

1966年生まれ。母子保健研修センター助産師学校出身。マザリーズ助産院代表のほか、(一社)調布LGBT&アライの会代表、調布市民生児童委員、調布市深大寺児童館子育て広場助産師相談担当、(公社)東京都助産師会生・性を語るエドゥケーター、調布病院非常勤助産師。

- Zoom(ウェビナー)を利用して行います。パソコン、スマートフォン、タブレットでご参加ください。
- 視聴中に参加者の顔や氏名が表示されることはありません。
- Zoom用ログインURLは講座開催前日までに主催者よりメールでお送りします(申込時にメールアドレス必須)。
- 利用時にかかる通信料は各自ご負担ください。

電話、FAXまたは足立区ホームページ内のオンライン申請でお申し込みください。

電話

03-3880-5222

FAX

03-3880-0133

足立区男女参画プラザ

ふつうってなんだろう?

検索



参加申込書

FAX : 03-3880-0133

オンラインセミナー「ふつう」ってなんだろう?		6月18日(水) 19:00~20:30
参加者名/ 年代	名前(カタカナ)	年代(あてはまるものに○) 10代・20代・30代・40代・ 50代・60代・70代以上
お住まいの 地域	(例)足立区梅田 ※町名まで	
連絡先	電話番号	FAX番号
メールアドレス	後日Zoom用ログインURLをお送りしますので、必ずアドレスをご記入ください。	

※ご記入いただいた個人情報は、今回の講座の受付以外の目的には使用いたしません。